

菌型間接照明

熊本大学工学部建築学科1年

134t5758 山里光季

作品概要

光をただ対象を照らすものとしてではなく、あるイメージを喚起させるものとして間接照明本体と組み合わせることにより対立的な二つの印象を同時に与えたり、本体の印象に変化を加えることを考えた。

“トゲトゲ”のついた球体に、先端の鈍い（“ふわふわ”した）光で球体を包みこむ。また、中心の光は鋭くはっきりしたものにし、これが球体の“トゲ”にあたり屈折（“キラキラ”）することによってまた異なる印象を与える。

本体

中心の球と手の長さは5：3

大きさは4種類あり、球の直径としてそれぞれ約1m50cm、90cm、30cm、15cm

軽く（プラスチックなど）透明、先端がゴムのようなものでおおわれている

中は空洞で液体が入っており、中心と先端に入っている透明なボールが点灯部分

機能

2種類の点灯法がある

先端：オレンジ色のぼんやりした光を発する（蛍光塗料のような）液体がなボールに入っている

中心：本体の中で液体に包まれ浮いているボールの中に豆電球のような、白い光を発するものが入っている

水に沈ませることができる 浴槽中での使用が可能

充電式

大きいもの、小さいものを組み合わせて遊べる

菌型間接照明

工学部 建築学科 1年

134T5758 山里光季

